

第3回

Nextcom情報通信論文賞の結果について

若手研究者の方々を奨励するため、Nextcom情報通信論文賞を設けています。

【Nextcom情報通信論文賞】

表彰対象者： Nextcom Winter号からAutumn号までの1年間に掲載された、45歳以下の著者（共著論文を含む）による論文の中から、監修委員会が最も優秀であると認めた論文のご執筆者

* 常勤の国家公務員（研究休職などを含む）、KDDIグループ関係者は対象外です。

表彰内容： 株式会社KDDI総研から表彰状（Nextcom情報通信論文賞）と副賞を授与します。

詳細については「Nextcom」ホームページ

<http://www.kddi-ri.jp/nextcom/index.html> をご覧ください。

お問い合わせ先：〒102-8460 東京都千代田区飯田橋3-10-10 ガーデンエアタワー 33階
株式会社 KDDI 総研 Nextcom 編集部

【第3回 受賞者】

第3回のNextcom情報通信論文賞は、2012年12月のWinter号（Vol.12）から2013年Autumn号（Vol.15）までを対象として、監修委員会による選考が行われ、2014年1月31日に表彰状と副賞が授与されました。

第3回Nextcom情報通信論文賞

【受賞理由】

プライバシーをめぐるアメリカとヨーロッパの基本的な価値観の相違、対立を明らかにし、日本のプライバシー・個人情報保護の具体的問題点を明示した。また、世界の動向を見据えた上での対応が必要であることを提言しており、我が国の情報通信の制度・政策に関する研究において、テーマ・内容ともに大変貢献するものである。

● 宮下 紘 氏 (みやした ひろし)

駿河台大学 法学部 准教授／
ハーバード大学 ロースクール 客員研究員
(現、中央大学 総合政策学部 准教授)

対象論文：『プライバシー・イヤー2012—ビッグ・データ時代におけるプライバシー—個人情報保護の国際動向と日本の課題—』
(Nextcom Vol.12 ,pp.32-41)
副賞：30万円



2013年度著書出版・海外学会等参加助成の結果について

Nextcom監修委員会からの推薦を受けて、公益財団法人KDDI財団で審査されていた、2013年度の著書出版・海外学会等参加助成を受けられる方々が決定し、2014年1月31日に決定通知書が交付されました。

2013年度 著作出版・海外学会等参加助成（五十音順）

【2013年度著書出版助成】2名 助成金：各200万円

● 宮下 紘 氏

（みやした ひろし）

中央大学 総合政策学部
准教授

著書：『プライバシー権の復権（仮題）』



● 脇浜 紀子 氏

（わきはま のりこ）

読売テレビ放送株式会社
編成局 アナウンス部
参事

著書：『「ローカルテレビ」の再構築—地域情報発信力強化の視点から（仮題）』



【2012年度海外学会等参加助成】

● 黒田 敏史 氏

（くろだ としふみ）

東京経済大学 経済学部
専任講師

対象学会：4th Workshop on the Economics of ICTs (2013年4月11～12日、ポルトガル)



● 米谷 南海 氏

（よねたに なみ）

慶應義塾大学 大学院
政策・メディア研究科
後期博士課程

対象学会：International Communication Association Annual Conferences (2013年6月18～21日、ロンドン)

